

No.	B07
タイトル	大規模施設に発着する交通の経年変化分析と予測手法に関する考察
所属・名前	一般財団法人 計量計画研究所 中野 敦
キーワード	① 都市開発 ②交通計画 ③交通量予測
<p>大規模都市開発が行われる際、開発に伴う交通量を予測するため、国土交通省が「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」を策定し、標準的な発生集中原単位などを提示している。近年の大規模開発事例には、開発後の交通実態が、マニュアルの基準値と異なる例が少なくない。本論文は、社会的影響の大きい事務所施設を対象に、近年の交通実態調査結果を用いて、発生集中原単位の特性を特に過去のデータとの比較に着目して分析するとともに、マニュアルの標準的な発生集中原単位の見直しの必要性を考察したものである。なお、この結果に基づいて、平成26年6月に大規模開発地区関連交通計画マニュアルが改訂された。</p>	